



青葉区フードバンク通信



【感謝】おかげさまで令和3年WAM助成を受けてのフードバンク活動を1年間継続できました！

年度末の3月最初のフードバンク活動は「すすき野団地」での食品配布会。すすき野団地では通算4回目になります。ちょうど団地の駐車場契約の更新日ということで、食品配布会場にも多くの住民の方々がお見えでした。東日本大震災から11年が経過した3月11日の数日後ということもあって、防災用の「保存水」などの人気も高かったです。やはり団地の場合、停電してしまうとポンプが動かなくなって水が出なくなる可能性が高いため、10リッターくらいの水は常備しておきたいところ。また、鴨志田地域ケアプラザでの食品配布も定着してきて、配布開始から15分程度で全量配布完了となりました。

2021年4月から開始したWAM（医療福祉機構）からの助成金を受けてのフードバンク活動が、この3月で



横浜市政策局の取り纏めによるリビングラボ活動の会合。

1年を迎えました。あっという間に過ぎ行くこの1年間には様々な展開があり、当会の新しい分野での新しい繋がりが生まれました。折々のニュースレターでお知らせしました通り、青葉区を中心とした横浜市での活動が大変活発になりました。新型コロナウイルス災禍で海外との直接交流は殆ど出来ませんでしたが、オンラインでの繋がりが情報交換など、「文明の利器」による活動から得た経験も貴重でした。また、横浜市政策局の取り纏めによるリビングラボ活動では違った分野の様々な仲間と関わる事が出来ました。そのほか、WAMの助成金で購入した冷凍車/冷蔵車も温度管理が重要な乳製品の運搬の際に安心度が高く、本当に助かりました。こうした活動のネットワークやノウハウを2022年4月からの起爆剤にしたいものです。



すすき野団地で実施したフードバンクのようす。

主なフードバンク活動の記録

- 【第37回】3月09日（水）夢見堂
- 【第38回】3月12日（土）すすき野団地
- 【第39回】3月14日（月）鴨志田地域ケアプラザ
- 【第40回】3月21日（月）鴨志田団地集会所
- 【第41回】3月23日（水）夢見堂

★2022年4月の食品配布会の開催予定★

- ・4月10日（日）すすき野団地集会所
- ・4月11日（月）鴨志田地域ケアプラザ
- ・4月13日（水）・27（水）夢見堂
- ・4月18日（月）鴨志田団地集会所

編集後記

2020年後半から取り組んだフードバンク活動は、2021年4月からは「令和3年度WAM助成」を受けた事によって飛躍的な展開になりました。未だ食べる事が出来るのに様々な理由で廃棄されてしまう食品が日本には600万トン以上も有るという衝撃の事実を知り、ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイ女史の「もったいない」運動を思い浮かべて始めたフードバンク活動は、コロナウイルス災禍の影響で増した困窮者への一助に繋がって行きました。「国際文化交流研究会」としての基盤も役立ち多くの仲間との連携が増えた充実の2021年度でした。食品の運搬・配布を手伝い、車の運転も少しは上達した気がします。4月からイオングループの協力を得て試みる予定のフードドライブではどのような未来が待っているのでしょうか。また新しい交流が生まれる事を楽しみにしております。（園）